

水稲用殺菌剤

農林水産省登録
第21785号

いもち病・紋枯病の同時防除に

航空防除及び無人航空機散布にも使えます

協友

アミスター[®]エイト

フロアブル



アミスターエイトの特長

1 一成分で、いもち病・紋枯病・穂枯れ(ごま葉枯病菌)・変色米(カーブラリア菌・エピコッカム菌・アルタナリア菌)に高い効果、さらに米の品質に影響を及ぼす稲こうじ病や穂枯れ症を起こすごま葉枯病菌、すじ葉枯病菌など幅広い稲の主要病原菌に活性を示します。

2 浸透移行性による優れた予防効果があります。

3 いもち病に対して分生子柄形成および分生孢子形成を強く阻害し、孢子の飛散を抑え、高い二次感染阻止効果が得られます。

4 紋枯病に対して、水平進展および垂直進展を阻止します。また、散布適期幅が広く、持続性に富みます。

5 収穫14日前までの使用が可能です。



紋枯病



穂いもち



葉いもち

協友

アミスター® エイト

フロアブル

アゾキシストロピン……8.0%

普通物* *毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

適用病害及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 稲こじ病 穂枯れ(ごま葉枯病菌、すじ葉枯病菌) 変色米 (カーブラリア菌、エピコッカム菌、 アルタナリア菌)	原液	120~ 150ml	収穫14日 前まで	3回以内	空中散布	4回以内 〔育苗箱散布は1回以内、 本田では3回以内〕
		8倍	800ml				
		30倍	3l			無人航空機 による散布	
		8倍	800ml				
	300倍	25l	散布				
	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	1,000~ 1,500倍	100~ 200l			散布	
稲こじ病 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 変色米 (カーブラリア菌、エピコッカム菌、 アルタナリア菌)	1,000倍						

⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤は、いもち病、紋枯病防除を主体とし、同時防除としてその他の病害に使用できるが、多発時の稲こじ病には効果が劣ることがあるので注意してください。
- りんごの一部品種(あかね、旭、ガラ、きざし、モーリースデリシャス、ラリタン等)では、葉にネクロシス(褐変)や落葉、また果実にはさび果や落果を伴う品種特有の激しい葉害が生じるので飛散(ドリフト)等により散布液がかからないよう十分注意してください。また、本剤を使用した散布器具及び希釈液タンクを用いて、りんごのこれら品種には散布しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - ① 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 微量散布及び少量散布の場合は微量散布装置の散布器具以外は使用しないでください。
 - ③ 無人航空機による散布にあつては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ④ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ⑤ 散布薬液の飛散により他の動植物(特にりんごの一部品種)及び自動車やカラートタンの塗装等に被害を与えないよう散布区域内の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ⑥ 水源池、飲料水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
 - ⑦ 散布終了後は次の事項を守ってください。
 1. 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
 2. 使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管してください。
 3. 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置(パンクルスプレーヤなど)を使用してください。
- 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動植物(魚類)に影響をおよぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 空中散布及び無人航空機による散布で使用の場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器・空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月現在の登録内容に基づいています。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。 ● 空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

2024年7月作成 全農企画社 P1202407001